

8/6,11,20 図書館で町内小学生が「1日司書体験」
司書の仕事を体験

図書館司書の業務を体験する「1日司書体験」が三戸町立図書館で行われ、町内の小学3～6年生の児童5人が参加しました。児童たちは、館内の見学や、新着本の受入作業、本の配架やカバーかけなどの図書館司書の業務について学びました。参加した児童は「本のカバーかけが難しかったけれど、楽しかったです。また司書体験があれば参加してみたい」と感想を話しました。



新着本の受入作業を体験する児童



松尾町長（中列右）、達美さん（2列目中央）と家族の皆さん

8/14 大村達美さん 100歳顕彰

ひ孫に会うことが日々の楽しみ

大村達美さん（大正12年8月10日生まれ）が、めでたく100歳の誕生日を迎え、役場で松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。達美さんは、三戸町で5人きょうだいの第2子として生まれました。高等小学校卒業後、大工の弟子として造船などに従事し、終戦後は大工として法光寺三重塔の建立などに携わりました。現在は子ども2人、孫5人、ひ孫6人と家族にも恵まれています。達美さんは「好き嫌いなく何でも食べることが元気の秘けつ。今は、ひ孫に会うことを楽しみに過ごしています」と話しました。

8/22,23 町産ホップを収穫

三戸産ホップの復活に向けて尽力

三戸町地域おこし協力隊の米澤雅貴隊員は、昨年に続き2回目のホップ収穫を行いました。ことしは16キロのホップを栽培し、昨年と比較して1.6倍の収穫量となりました。今後は、地域特性を生かしたクラフトビール造りや、ホップの新たな販路開拓に向けて活動する予定です。米澤隊員は「新たな三戸町の特産品として、三戸産のホップを広めていけるよう活動していきたい」と話しました。



ホップを収穫する米澤隊員（左）

8/30 三戸小チームが相撲東北大会優勝を報告

仲間と励まし合いながら戦い抜く

8月20日に開催された「第42回東北学童相撲大会」の団体戦に出場した小中一貫三戸学園三戸小学校のチームが優勝し、メンバー6人と指導に当たる山下智宏さんが役場を訪れ、松尾和彦町長と慶長隆光教育長に結果を報告しました。選手たちは「お互いに



役場で大会優勝を報告

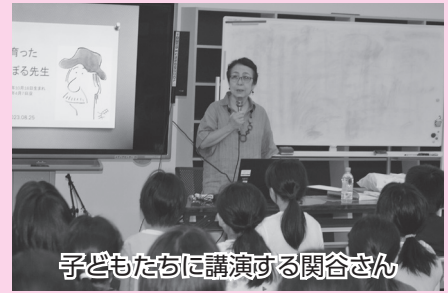
励まし合いながら勝ち進むことができました」と大会を振り返りました。

8/25 小学生おはなし会

想像巡らせ「おはなし」を楽しむ

小学生おはなし会が小中一貫三戸学園三戸小学校（島守詩子校長）で行われ、三戸小学校5年生57人が参加しました。講演では、絵本『11ぴきのねこ』の出版社であるこぐま社の元編集長・関谷裕子さんが講演を行いました。関谷さんは、町出身の漫画家である馬場のぼるさんが小学生時代に描いた絵や習字を紹介しました。関谷さんは「笑いには、人をばかにする残酷な笑いもある。でも、馬場さんは人を傷つけない、楽しい笑いを描いていた」と話し「馬場さんはユーモアのあるおもしろい人だった。皆さんも良い笑いや、ユーモアについて考えてみて」と子どもたちに呼びかけました。

その後、絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」（小島瑩子会長）のメンバーが2つの教室に分かれて絵本の読み聞かせを行いました。子どもたちは熱心に聞き入り、想像を巡らせながらお話を楽しみました。



子どもたちに講演する関谷さん



石像を水拭きする子どもたち

8/27 三戸小初等部がボランティア活動

清掃を通して地元への愛着を深める

小中一貫三戸学園三戸小学校（島守詩子校長）の初等部（1～4年生）約180人は、ごみ拾いや石拾い、11ぴきのねこ石像の水拭きなどの町内各地の清掃ボランティア活動を行いました。参加した山加果歩さん（2年）は「水拭きしたら、ねこさんが気持ちよさそうにしているうれしかったです」と話し、清水田琉桜さん（3年）は「暑かったので、拭いてもすぐ湯いて大変でした。きれいになったので、みんなに見てほしい」と話しました。

9/4 青森県民駅伝競走大会

仲間の思いをつなぐ たすきリレー

第31回青森県民駅伝競走大会が4年ぶりの公道でのコースで行われました。三戸町の代表選手9人は、26.1kmのコースを1時間32分1秒で走り抜き、総合15位、町の部で6位入賞を果たしました。

また、第3区を走った熊林瑛結さんは、町の部で区間賞となりました。【代表選手】第1区：山本文也（八戸学院光星高3年） 第2区：佐藤迦武伊（三戸小6年） 第3区：熊林瑛結（三戸小6年） 第4区：川市哲也（会社員） 第5区：中山広太郎（三戸中2年） 第6区：上田干聖（三戸中3年） 第7区：芦澤勇太郎（三戸小中学校教員） 第8区：佐藤咲希（三戸中2年） 第9区：佐々木涼蒼（三戸中2年）



たすきをつなぐ選手



リンゴを収穫する松木会長

9/14 「白門りんごの会」収穫体験ツアー

甘くておいしい三戸リンゴに笑顔

中央大学OBで構成される「白門りんごの会」（松木茂夫会長）27人が4年ぶりに三戸町を訪れ、リンゴの収穫体験を行いました。参加者は梅内りんご組合の園地を訪れ、自分たちで収穫した取れたてのサンつがるをほお張り、美味しくいただきました。

松木会長は「久しぶりに収穫体験ができて大変うれしい。甘くて新鮮なリンゴを現地で味わえました」と話しました。

9/16～18 「地元の縄文」再発見フェア in さんぱち

地元の縄文に触れる 貴重な体験

青森県埋蔵文化財調査センターは、三八地域の縄文『「地元の縄文」再発見 in さんぱち』を三戸町中央公民館・三戸町民体育館で開催しました。本イベントでは、三八地域の出土品展示会や、土器の文様をとった缶バッジ製作、火起こし体験などのほか、17日は三八地域各市町村の縄文時代に関する講演会や、沿岸と内陸の縄文文化を語るシンポジウムが行われました。

八戸市から会場を訪れた今勝康さんは「三八地域の出土品がこんなにも多いことを知り、大変驚きました。出土品に実際触れることもでき、貴重な体験になった」と話しました。



出土品展示会場のようす



(左から) 松尾町長、原オフィス長、
第一生命保険職員の皆さん

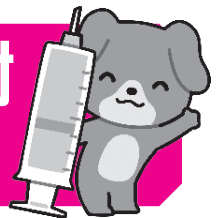
9/19 第一生命保険(株)が「うちわ」寄贈

参加者の暑さ対策として活用してほしい

「包括連携協定締結企業」の第一生命保険(株)三戸営業オフィス(原明彦オフィス長)は、さんのへ秋まつりの暑さ対策として、各町内会の山車組と斗内獅子舞保存会に対し、山車がデザインされた「うちわ」600枚を寄贈することの報告で役場を訪れました。同社では地域との連携を通じた社会貢献に力を入れており、原オフィス長は「参加する多くの子どもたちの助けになってくれたらありがたいです」と話しました。松尾和彦町長は「久しぶりに3日間の行程で開催される『さんのへ秋まつり』を、さらに盛り上げる手助けとなってくれると思う」と感謝を述べました。

令和5年度 秋の狂犬病予防注射

犬の所有者には、法律により年1回の「狂犬病予防注射」と一生に1回の「登録」が義務づけられています！



月日	実施時間	実施場所
10月21日(土)	9:20～9:25	蛇沼やまびこ会館
	9:45～9:50	三戸地区生活改善センター
	10:05～10:15	猿辺支所
	10:30～10:35	杉沢バス停前
	11:00～11:10	斗川支所
	11:20～11:25 11:40～11:50	豊川ほうえい会館 図書館前
10月22日(日)	9:10～9:25	松原集会所前
	9:35～9:45	久川町内会館
	9:55～10:10	元木平町内会館
	10:20～10:25	泉山あすなる会館
	10:35～10:40	6分団屯所(細谷)
	10:55～11:15	目時さわやか会館
	11:30～11:50 12:00～12:20	旧寺牛スタンド前 三戸町役場来客用駐車場

期間中はどこの場所でも

予防注射と登録ができます。

- 🐾 新しく犬を飼った人、生後3カ月以上の子犬を飼っている人は、登録・注射を行ってください。
- 🐾 注射は公共の場所で行うので、犬のふんは飼い主が責任を持って処理してください。
- 🐾 飼い犬の死亡や譲渡があった場合は、役場住民福祉課にお知らせください。

●登録料 3,000円

●注射料 3,300円

(内訳：注射 2,750円、注射済票交付手数料 550円)

【問い合わせ先】 三戸町役場 住民福祉課
☎ 20-1151

